vCenter Life Cycle Managerを使用したシスコカ スタムISOの作成

内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

<u>ファイルのダウンロード</u>

<u>ドライバファイルのインポート</u>

設定手順

はじめに

このドキュメントでは、vCenter Life Cycle ManagerでCisco Custom ISOを作成する方法について説明します。

前提条件

要件

- 1. vCenter Serverバージョン7.0以降が機能していること。
- 2. ESXiオフラインインストールバンドル。
- 3. Cisco UCSドライバのISOファイルまたはZIPファイル
- 4. 説明されている手順に進む前に、両方のファイルをvCenterライフサイクルマネージャにインポートする必要があります。



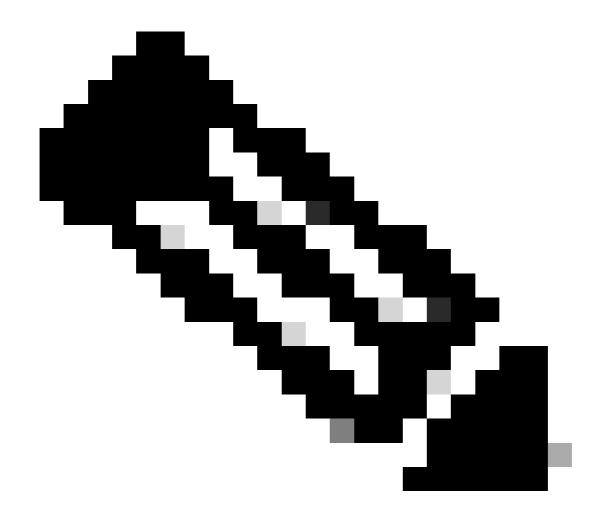
注:この手順では、既存のデータセンターオブジェクトまたはvCenter内のホストクラスタは必要ありません。この手順は、バージョン7.0以降のすべてのvCenterに適用できます。

使用するコンポーネント

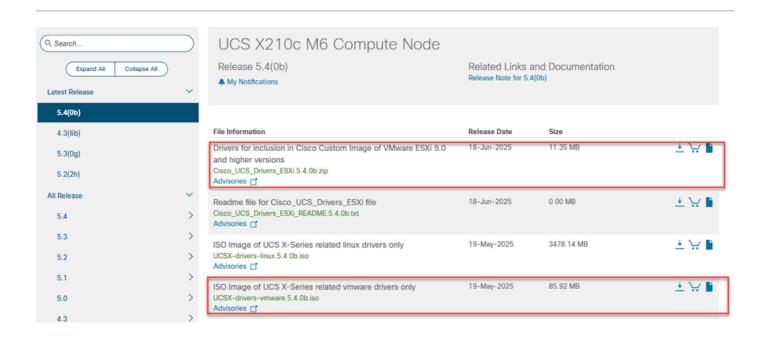
- 1. vCenter 9.0 (vCenterは7.0以上であること)
- 2. vCenterライフサイクルマネージャ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ファイルのダウンロード



注:特定の環境に必要な正しいバージョンを選択してください。表示されるイメージは デモ用です。



ドライバファイルのインポート

<u>Cisco製品サポート</u>からダウンロードしたドライバのZipファイルを解凍します。

必要なドライバファイルをインポートするには、vSphere Life Cycle Manager > Actions > Import Updates > Browseに移動します。

🗘 Lifecycle Manager

Su

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。